

# 『国際地域経済研究』第 25 号の刊行にあたって

附属経済研究所長 川端康

名古屋市立大学大学院経済学研究科附属経済研究所年報『国際地域経済研究』は2000年3月の創刊以来、今回で25号目の刊行を迎えました。本号では2つの論文を所収しました。1本目の“Narratives and Bubbles: Rabbit Manias in Meiji Japan”では、明治期の1873～1874年に日本で起きた「兎バブル」を取り上げ、いかにして基礎的要因を欠いたまま投機的ブームが発生したのかを明らかにしています。2本目の「MINIMAL ガイド—CGE モデル実習はじめの一步—」では、MINIMAL という教育用の計算可能な一般均衡 (CGE) モデルとデータベースの導入について解説しています。

今年度は「就職氷河期世代：経済と経営」をテーマに第29回公開シンポジウム（名古屋市立大学大学院経済学研究科・附属経済研究所、名古屋市立大学都市政策研究センターの共催）を令和7（2025）年11月21日（金）に開催いたしました。おかげをもちまして大変な盛会となりましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

末筆ながら今後も経済研究所の活動におきまして、皆様のご支援、ご協力をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。